

人の集まる秋田リゾート化計画！

システム科学技術学部経営システム工学科

2年 吉田 智博

2年 加藤 樹

2年 小番 暉子

2年 和久井 匡

指導教員 嶋崎善章 システム科学技術学部経営システム工学科

はじめに

私たちのグループは、一年生でのあきた地域学で秋田県の現状を知り、秋田県の地域活性化が必要だと考えた。そのためには、県外の人に多く来てもらうことが必要なので、私たちは魅力的なリゾート開発をし、多くの人を呼び込むことを提案する。そして、このリゾート開発を実現させるために株式投資を行い、多くの投資家にアピールできる事業体を構築する。

方法

まず、秋田県に対するイメージと、どのようなリゾートが多くのお客のニーズをつかめるかを首都圏の観光客をターゲットとし、東京でアンケート調査を行い、さらにその結果を分析した。次に、リゾートのイメージを固めるために観光資源調査を行った。そして、リゾート開発に必要な要素を定め、それに当てはまる上場企業を業種別に分けた。さらに、投資家目線で二段階のスクリーニングを経てより多くの投資家が出資してくれるような事業体を構築する。

結果

アンケートの実施期間は2018年9月26日から28日、上野公園周辺でアンケート調査を行った。年齢が10代以上の男女を対象とした。アンケートを実施してわかったことは、秋田県に関することの認知度が低いことや秋田県に対してよいイメージを持っていること、レジャーや観光では自然めぐりやグルメ堪能することが好みと答えた人が多かった。観光資源調査の結果、秋田県には十和田湖や田沢湖を舞台とした八郎太郎と辰子姫などの伝説や角館の武家屋敷などの歴史的建造物、白神山地や鳥海山麓などの自然遺産、さらには乳頭温泉郷や田沢湖温泉郷などの温泉街これら数多くの観光資源が存在することが分かった。そのため、私たちのグループでは秋田県に存在する伝説をリゾートのイメージとすることとした。そして、リゾートホテルの内装には伝説をモチーフにしたものを取り入れ、リゾートを起点として秋田県の多くの観光資源に訪れてもらうため、リゾートは空港や駅などの交通に便利な協和インターチェンジ付近を選定した。次に、必要な要素を業種ごとにまとめると、運輸業、旅行代理業、アニメ・ゲーム産業、不動産・建築・宿泊業、飲食・小売業の五つとなった。業種ごとの選んだ理由は、<運輸業> 県外から人を呼び込むための手段となるため。自動車社会の秋田県では交通手段を確保することが鍵となる。

<旅行代理業>まだ、知られてない秋田の魅力を、外部の人に発信する必要があるため。
 <アニメ・ゲーム産業>私たちが考えたリゾートのコンセプトを分かりやすく伝えるためにはアニメーション企業の力が必要になる。

<不動産・建築・宿泊業>リゾートホテルを作るためには必要不可欠であるため。

<飲食・小売業>アンケート調査から秋田県の魅力として、グルメが上位になったため、食事やお土産に力を入れるべきと考えたため。

となった。そして、スクリーニングは二回に分けて行った。主に、第一スクリーニングではリゾートのコンセプトに合う企業選出。第二スクリーニングでは、安全性、満足度、柔軟性などの評価基準を作成し、点数の高い企業を選出した。なお、第二スクリーニングの結果は事業体（ポートフォリオ）の構成比率の配分も兼ねている。なお、業種別投資配分は私たちが重要だと思う業種に多く金額を分配するように定めた。結果は表1のようになった。第二スクリーニングの結果は表2のようにまとめた。ちなみに表2の購入金額については、日経ストックリーグで使用した仮想投資金額5,000,000円を構成比率をもとに分配した金額となっている。

表1 業種別投資配分

	不動産・ 建築・宿泊業	旅行代理 業	運輸業	飲食・小売業	アニメ・ ゲーム産業
業種別投資比率	35%	10%	10%	20%	25%
選出する企業数	3	2	2	2	3

表2 事業体の最終決定

証券コード	企業(銘柄)名	業種	購入金額(円)	構成比 (%)
6098	(株) リクルートホールディングス	旅行代理店	440735	9
9603	(株) エイチ・アイ・エス	旅行代理店	248490	5.1
3387	(株) クリエイト・レストランツ ・ホールディングス	飲食店	348969	7.1
3178	チムニー (株)	飲食店	449196	9.1
9684	(株) スクウェア・エニックス ・ホールディングス	アニメーション	417200	8.5
3791	(株) IGポート	アニメーション	368838	7.5
6238	フリュー (株)	アニメーション	409220	8.3
9202	ANAホールディングス (株)	交通	198646	4
9201	日本航空 (株)	交通	295992	6
8830	住友不動産 (株)	ホテル	398842	8.1
9616	(株) 共立メンテナンス	ホテル	688200	14
8801	三井不動産 (株)	ホテル	647721	13.2

事業体の収益性

事業体の安全性を計るために日時評価法と期待リターン、リスクをTOPIXと比較した。

日次評価法

期間は2017/12/1から2018/11/30に定めて収益率を一日おきに次に数式を使った。

V_i 一日おきの終値を表している。

$$r = \prod_{i=1}^n \frac{V_i}{V_{i-1}} - 1$$



期待リターン

期間は2013/12から2018/11まで1ヶ月おきに次の数式を利用した。

w_i は構成比率 R_i は各銘柄の期待リターンを表す。

$$E(R_p) = \sum_{i=1}^n w_i R_i$$

表3 期待リターンとリスク

	期待リターン (%)	リスク (%)
事業体	-0.9656	0.038
TOPIX	0.3000	0.039

結果は上のような値となった。構成比率を考慮していない日時評価法ではTOPIXより悪い値となったが構成比率を考慮する期待リターンではポートフォリオのパフォーマンスは負の値となった。

実際日経ストックリーグの擬似運用で5,000,000円投資した結果4,708,932円(2019年2月14日)となった。

結論

本研究では秋田県の地域活性化の策としてリゾート開発することを考えた。そのために

、東京でのアンケート調査や秋田県の観光資源調査、リゾート開発に必要な要素を定め、その要素に当てはまる業種を選択し、投資家目線で二段階のスクリーニングを行い、事業体を構築した。その結果リゾートのイメージは伝説になり、そのリゾート案を五つの異なる業種で選択した上場企業12社が実現可能な事業体となった。

参考文献

富島佑允 (2018) ‘投資と金融がわかりたい人のためのファイナンス入門’株式会社 CCC メディアハウス

アセットマネジメント One (2018) ‘資産運用のパフォーマンス測定’ 株式会社きんざい株探 <https://kabutan.jp> (2017年10月20日)

菊井高昭 竹本達廣 (1996) ‘財務管理と診断’ 株式会社 同友館

Yahoo! Japan 「Yahoo!ファイナンス」 <https://finance.yahoo.co.jp/>

日経経済新聞 <https://www.nikkei.com/markets/kigyo/> (2017年10月10日)

じゃらん <https://www.jalan.net> (2018年11月18日)

楽天トラベル <https://travel.rakuten.co.jp> (2018年11月24日)